

令和 5 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	43		学校名	県立神栖高等学校				課程	全日制		学校長名	園部 晃嗣				
教頭名	岩瀬 美江								事務(室)長名	江藤 真紀子						
教職員数	教諭	24	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	6	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	4	計	44
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	74	67	65	65	62	69			201	201	12				
	科															
	科															

2 目指す学校像

「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」、「社会に貢献できる有為な人材の育成」
1 「自立貢献」を目指す理念とし、教育的愛情を基盤とした教育活動を実践する。
2 確かな学力と表現する力の育成を図り、生徒ひとりひとりに明確な目標を持たせ、個性と自立心を伸ばさせる。
3 自制心、向上心、共感性等を育てる教育活動を通して、非認知能力の育成に努め、地域や社会に貢献できる心豊かな人間を育成する。
4 特別活動等の活性化と魅力ある学校づくりを推進し、地域から信頼され、選ばれる学校を目指す。
5 生徒ひとりひとりの人権を尊重し、生徒・職員が相互に人格を認め合ういじめのない環境をつくる。

3 三つの方針 (スクール・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<u>「一人一人が自立し、輝きに満ちた学校」、「社会に貢献できる有為な人材の育成」</u> ① 個人の目標を定め、協働的に粘り強く挑戦する。 ② 地域や社会における「解のない問い」に対峙できる力をつける。 ③ 様々な「自立」に向け、主体的、意欲的に行動する。
---------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

別紙様式 1 (高)

	<p>④ 心身ともに健康で、情操豊かで他人を思いやる。</p> <p>⑤ 地元を愛し、地域を知り、個人や社会に「貢献」できる力をつける。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<p>●「学ぶ喜びを感じながら、主体的・協働的・探究的・社会的に学びを深める」</p> <p>(1) 目標や進路希望に応じた教育課程 1 年次→中学校での学習を基礎に、全生徒がフラットな学級編成で普通科での課程を修得 2 年次・3 年次→学習成績並びに進路希望に応じ、各自に適切な教育課程の授業を選択</p> <p>(2) 県指定事業「チャレンジ・プロジェクト」の実施 (重点校) 1 探究活動→地域(神栖地域)や社会の課題に対し、各教科・科目で主体的・対話的で深い学びの実現を目指した「総合的な探究の時間」を軸に探究活動を進める。 2 グローバル研修→広く世界に目を向けて、文化理解・交流・語学・地域理解を進める。 3 自立活動→次世代につなぐ(赤ちゃんふれあい体験)、選挙講座、消費者教育等。 4 キャリア教育→地元産業について学ぶ(合同企業研究会、インターンシップ等)、進学希望校の探究、保護者の学び(PTA 研修)、資格取得の奨励。</p> <p>(3) 特に力をいれる3つの進路実現の推進 1 高卒公務員(神栖市役所、消防署、警察官、自衛隊等)試験合格 2 小学校教員養成課程四年制大学への進学 3 看護医療系専門学校及び四年制大学への進学</p> <p>(4) ICT の活用 高度情報化社会に対応できるよう、情報活用能力を育成し、ICT 環境を整備しつつ、新技術を活用した様々な教育活動を実践し、実体験を通じた情報モラルの向上を図る。</p> <p>(5) 特別な配慮を必要とする生徒への対応 生徒、保護者等からの教育ニーズ等を把握した上で、個々の生徒の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、できる限りきめ細かく適切な指導と必要な支援を行う。</p> <p>(6) 多様な評価の実施 生徒のよい点や変容等を評価するため、各教科・科目で評価の場面や方法を工夫し、外部の試験・評価等も参考として生徒の実力を診断し、それぞれの個に応じた進路実現に活かす。</p> <p>(7) 教職員の継続的で充実した研修 教職員が、各教科・各科目の指導方法、ICT 教育、地域連携の学びなど、新たな価値のある学びを継続して研修する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<p>●資質・能力並びに3年間計画する教育内容を踏まえ、入学時には次のような生徒を求める。</p> <p>① 中学校で修得すべき基礎学力の上に、各自の心身の発達及び進路に応じて、一層の学力を身に付けようとする生徒。</p> <p>② 主体的に学習する態度や習慣を身につけ、進路実現を目指し、日々努力する生徒。</p>

別紙様式 1 (高)

	<p>③ 学校内外の様々な活動（部活動、芸術活動、ボランティア活動）等に積極的に取り組み、実践し、表現しようとする生徒。</p> <p>④ 人への思いやりを大切にするという精神を尊重しようとする生徒。</p> <p>⑤ 本校で身に付けた資質・能力を発揮して、世界や地域の課題を自分の課題として、解決に向けて探究するとともに、仲間と一緒に活動しようとする生徒。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	<p>生徒による生活状況調査結果より、約70%が「授業がよく理解できる」「ほぼ理解できる」と回答している。以前より実践している少人数授業や学校設定科目による基礎力向上のためのモジュール授業等に加え、アクティブラーニングの視点に立った授業展開の導入など、一定の効果は上がっている。</p> <p>「現在の成績に満足している」と回答した生徒は約10%にとどまっていたが、今年度は13%と増加した。また、「もっと（成績が）上がるように努力している」が41%いる。しかし、平日の家庭学習時間では「全くやらない」との回答が6割にのぼるなど、4割に減っており、徐々に家庭学習の習慣化がされているようだ。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びを実現するため、教員相互の授業参観等を積極的に行い、学校全体で授業力向上を図り授業改善に努める。</p> <p>以前から実践してきた少人数指導やチームティーチングによるモジュール授業等のきめ細かな指導を通して学習意欲を喚起し、さらなる授業改善や学習内容の定着を促す取り組み、家庭学習の習慣化を図るための方策が求められる。</p> <p>また、ICT機器の活用の頻度を高め、生徒の意欲関心を高める授業展開を図る。</p>
進路指導	<p>就職については、計画的・継続的な指導のもと内定率100%となった。後半女子の受験企業決定にやや苦戦したものの、焦らず丁寧に指導したおかげで最終的には100%の内定率となった。</p> <p>進学については、総合型、学校推薦型入試の生徒が多い中、一般入試で大学進学を目指す生徒も複数名おり、最後まで諦めること</p>	<p>各学年で段階的に進路ガイダンス等を設定し、啓発的・体験的な活動を一層充実させ、勤労観・職業観の育成を図る。</p> <p>公務員試験の受験者に対する支援を組織的に行えるよう、支援体制を強化する。基礎学力の定着だけでなく応用問題にも対応できるよう、連携している動画の配信等を組み込み、自学自</p>

別紙様式 1 (高)

	<p>なく取り組んだ結果、複数校合格する生徒も数名出るなど、それぞれが希望の道を決めることができた。学習面では定期考査や外部試験等の際の事前事後指導が定着しつつあり、振り返り活動を通して好成績を収める生徒が増加した。</p>	<p>習のスタイル確立につなげたい。 早期から資格取得や検定試験の受検を奨励し、就職・進学への意識を向上させたい。特に成績上位層へ特化した対応策が必要である。</p>
<p>特別活動</p>	<p>部活動は部員数が少ない中でも、大会や展覧会で入賞を果たすなど実績も徐々にあがってきている。今年度は県の部活動運営方針の改訂に沿って適正な部活動を実施していきたい。隔年開催の文化祭や体育祭は、一つのことをやり遂げる達成感や、協力して物事に取り組む連帯感を育むことができる。 各種委員会や生徒会活動は、校外で積極的に行われており、生徒の自己有用感の向上に大きく貢献している。今後はできる範囲で地域との連携を視野に入れた活動の場を広げていきたい。</p>	<p>部活動の加入率・定着率の向上が重要課題ではあるが、現在18ある部活動の削減も考えていく必要がある。神栖市との包括連携協定をもとに地域との連携を図り、校外での活動をさらに充実させたい。これからも各種委員会を含めた特別活動全般を通して母校愛や協働する喜びを体得させ、学校を皆で活性化させる気運を一層高めたい。本校の「部活動のあり方に関する活動方針」に則った適正な部活動運営を推進する。 中学校から引き継がれたキャリア・パスポートを継続し、探究活動の充実を図っていきたい。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>「ルールを守ること」の大切さを学期ごとの集会や朝のホームルームなどを通じて繰り返し話をする中で、少しずつ意識の向上が見られる。組織的・継続的な指導により欠席や遅刻、服装・頭髪などはかなり改善しているが、若干の生徒については引き続きの指導が必要である。家庭との密な連絡やスクールカウンセラーや地域の機関との連携により事故・問題行動の未然防止に努めている。</p>	<p>HR・学年の指導を軸に家庭やスクールカウンセラー等との連携を密にして基本的な生活習慣の確立と規範意識を向上させるとともに、「こころを育てるグループワーク」活動の実践により良好な人間関係の構築を目指す。定期的な面談や生徒アンケートの実施により問題行動などの早期発見、未然防止に努める。朝のあいさつ運動や交通安全講習を通じて、交通ルールの遵守やヘルメット着用率の向上を進めていく。教師間での研修や情報交換を行い地域との連携を高め、授業やあらゆる場面で生徒の成長する機会として生徒を多角的に捉えていきたい。</p>
<p>働き方改革</p>	<p>全学年 12 学級の小規模校であり、若手教員が多数在籍してい</p>	<p>業務内容の見直しや教材の共有化など、校務の効率化を更に</p>

別紙様式 1 (高)

	<p>るため、授業準備、教材作成、部活指導に時間を取られる傾向がある。管理職との面談を通し、時間外勤務は改善傾向にあるが常態化している。</p> <p>定時退勤日の拡充や完全退勤時間の遵守を促すとともに、校務の ICT 化や情報の共有化を図り、働きやすい職場環境の構築を進めている。</p>	<p>推進し、勤務時間の自己管理を通して、ワークライフバランスを確立する必要がある。</p> <p>チーム神栖として職員間での支援体制を強化し、問題を 1 人で抱える職員をださないように配慮する。</p> <p>校務の ICT 化や情報や教材の共有化を更に強化し、働きやすい職場環境に繋がることへの意識付けを行う。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 自制心、向上心、共感性を育てることを通して基本的な生活習慣を確立し、教育環境を整備し、教育活動全体を通して豊かな教育を推進する。 2 学習意欲を喚起し、主体的に学習する態度や習慣を育成するため、生徒の実態に即した教育課程を編成するとともに教職員の研修を充実させ、指導方法の工夫改善を図る。 3 生徒の自主性、自立性の確立と人格の形成及び連帯感の涵養を目指し、HR・生徒会・部活動の活性化を図り学校行事の充実に努める。 4 地域・家庭・中学校との連携を強化し、それぞれの役割を明確にして協力体制を構築し、次代を担う地域の人材を共に育成していくため「開かれた学校づくり」を推進する。 5 「神栖高校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの防止・早期発見・早期解消に取り組む。また、いじめのない誰もが良好な人間関係のもと安心して学べる学級・学校づくりに努める。 6 働き方改革を推進し、校務の効率化と質の向上に向け、効率的な教育活動を具現化する。

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 基礎学力の向上と授業の質の向上	<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭学習の定着及び進学課外の充実 ② 学習・進路に対する明確な目標設定と上位級への挑戦を含む資格取得の奨励 ③ 授業力向上と進学指導体制の構築

別紙様式1 (高)

<p>(2) 基本的な生活習慣の定着と安全指導の充実</p>	<p>④ 時間遵守の意識付けと規律正しい生活習慣の獲得 ⑤ 制服の正しい着こなしの徹底 ⑥ SNS等インターネットの安全な活用法の習得といじめの防止並びに早期発見・早期解消 ⑦ 交通事故の未然防止(自転車の安全指導・交通マナー指導)</p>
<p>(3) 自ら課題を発見する力の育成 (キャリアパスポートとの連携)</p>	<p>⑧ 探究活動の充実 ⑨ ICT機器を活用した授業実践と積極的な研修 ⑩ キャリアパスポートの定期的かつ積極的な利用 ⑪ チャレンジプロジェクト計画案の確実な実施</p>
<p>(4) 授業改善の促進</p>	<p>⑫ 全ての授業において、授業満足(KPI)度が60% ⑬ 授業改善推進委員会を中心に、互見授業を年3回以上実施し、研鑽に努める</p>
<p>(5) 広報活動の更なる充実</p>	<p>⑭ 学校HPの活用と充実 ⑮ 携帯連絡網(マ・メール)の効果的な活用 ⑯ 校内掲示の充実及び電子機器の積極的活用</p>
<p>(6) 外部機関との連携</p>	<p>⑰ 神栖市との包括連携協定の充実 ⑱ ポートフォリオの積極的活用</p>
<p>(7) 働き方改革の推進</p>	<p>⑲ 定時退勤日、完全退勤時間の拡充 ⑳ 資料、情報のネットワーク上での共有化及びペーパーレス化の推進</p>